

平成30年度 第2次学力試験 前期日程

補足説明

理科・地理歴史・数学（地理）

【補足説明】

44ページ

1 図3

図法の関係で、地図の一部に実際と異なるように見える場合がありますが、解答に際して考慮する必要はありません。

前期

理系

平成 30 年度入学試験学力検査問題

理 科 ・ 地 理 歴 史 ・ 数 学 ※数学は、数理科学科志望者のみ

〔理学部，都市環境学部：地理環境学科—150 分
都市環境学部(都市政策科学科 文系区分を除く)，
システムデザイン学部(インダストリアルアート学科を除く) 75 分〕

答案用紙

- ・物 理 3 枚 ・化 学 3 枚 ・生 物 3 枚
- ・地 学 2 枚 ・地 理 3 枚 ・数 学 3 枚

注 意

1. 監督員の合図があるまで，問題の内容を見てはいけません。
2. 数学は，筆記用具のほか定規，コンパスの使用を認めます。
ただし，分度器の使用は認めません。
3. 受験番号及び氏名は，答案用紙の所定欄に必ず記入してください。

(例) 受験番号 1234567X の場合 →

		1	2	3
4	5	6	7	X

4. 解答には黒鉛筆またはシャープペンシルを使用し，必ず配付された答案用紙に記入してください。なお，地学は裏面にも解答欄があるので注意してください。
答案用紙には，解答に関係のないことを記入してはいけません。
5. 字数指定の設問で解答欄にマス目が用意されている場合，アルファベット及び数字は，1 マスに 2 字記入しても構いません。
6. 問題は次に示したページにあります。
 - ・物 理 1 ページ～ 8 ページ ・化 学 9 ページ～17 ページ
 - ・生 物 18 ページ～34 ページ ・地 学 35 ページ～40 ページ
 - ・地 理 41 ページ～49 ページ ・数 学 50 ページ～51 ページ
7. 試験中に不鮮明な印刷等に気付いた時は，手をあげて監督員に申し出てください。
8. 答案用紙を切り取ったり，持ち帰ったりしてはいけません。
9. 問題冊子の余白は利用可能ですが，どのページも切り離してはいけません。
10. 問題冊子は，持ち帰ってください。また，試験終了時刻まで退室できません。

地 理

1 中国に関する以下の問い(問1～5)に答えなさい。解答は、いずれも解答欄の範囲内に記入しなさい。

問1 次の図1は、中国*を含むいくつかの国・地域の間における貿易額を示したものであり、ア～エは、ASEAN、アメリカ合衆国、中国、日本のいずれかである。図1中のア～エのうちから、中国に該当する記号を一つ選び、それを選んだ理由を述べなさい。

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

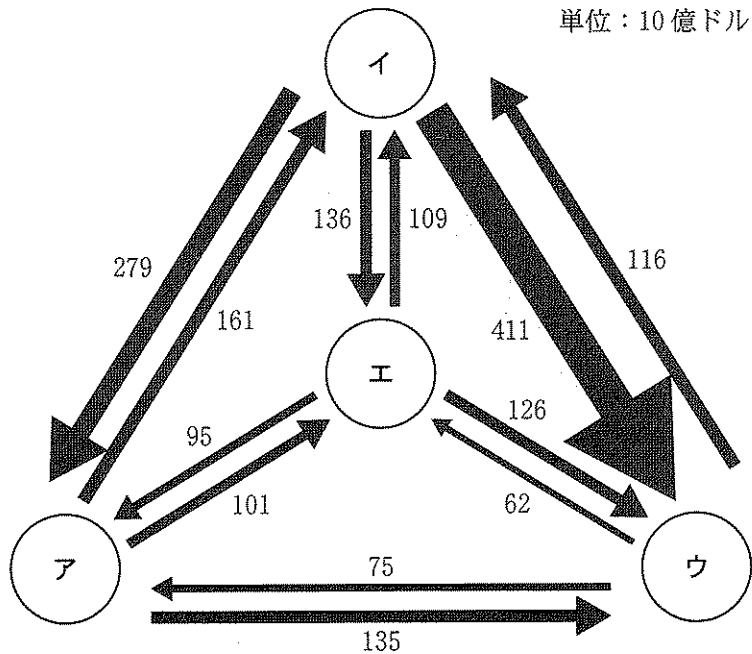


図1

日本貿易振興機構の資料により作成。統計年次は2015年。

問 2 次の図 2 は、中国*における日本企業の現地法人**の数を省***別に示したものである。図 2 から読み取れる日本企業の現地法人の立地に関して、2000 年と 2015 年の間における変化の傾向とその背景について述べなさい。

*台湾、マカオを含まない。

**日本側出資比率が 10 % 以上の法人。

***省に相当する市・自治区・特別行政区を含む。現地法人数 50 社未満は省略。

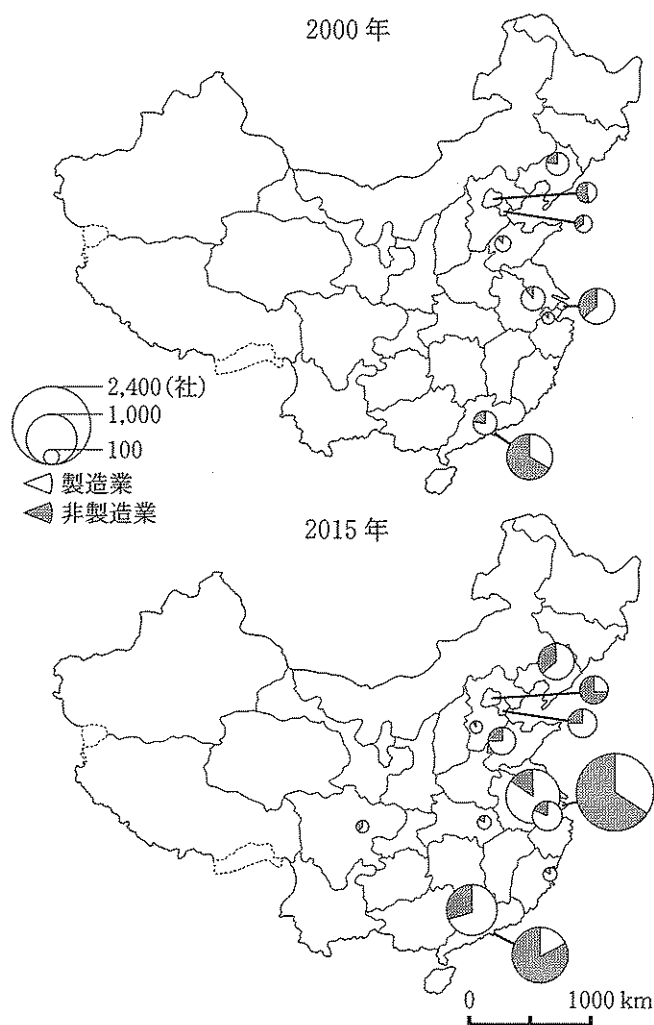


図 2

経済産業省の資料により作成。

問 3 中国政府が進めている西部大開発について、その目的を説明しなさい。また、西部大開発の具体的なプロジェクトの例を一つ挙げなさい。

問 4 次の表1は、中国*が輸入するいくつかの資源について輸入量上位5カ国を示したものであり、カ～クは、原油、石炭、鉄鉱石のいずれかである。カ～クに該当する資源名を答えなさい。

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

表1

順位	カ	キ	ク
1	オーストラリア	オーストラリア	サウジアラビア
2	ブラジル	インドネシア	ロシア
3	南アフリカ共和国	朝鮮民主主義人民共和国	アンゴラ
4	ウクライナ	ロシア	イラク
5	イラン	モンゴル	オマーン

UN Comtrade Labs の資料により作成。統計年次は 2015 年。

問 5 次の図3は、中国*の対外経済協力請負プロジェクト**完成売上高を世界の国・地域別に示したものである。図3から読み取れる中国の対外経済協力の特徴とその背景について述べなさい。

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

**主として建設・設計を行うもの。

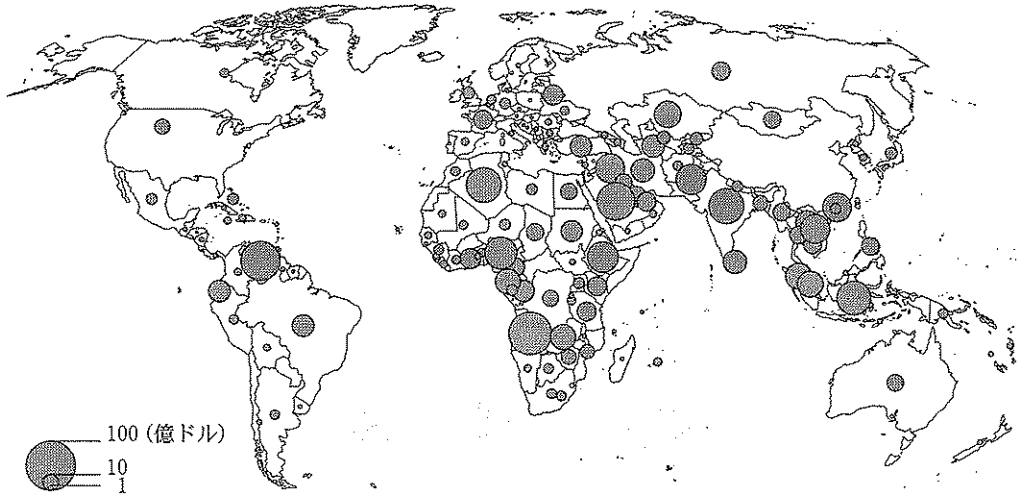


図3

『中国統計年鑑』により作成。統計年次は2013年。

2

茶の生産と流通に関する以下の問い(問1～5)に答えなさい。解答は、いずれも解答欄の範囲内に記入しなさい。

問1 茶の栽培に適した気候条件は、年平均気温 $14^{\circ}\text{C}\sim 16^{\circ}\text{C}$ 、年降水量 1300 mm 以上といわれている。次の図4は、メッシュデータを用いて日本国内でこれらの条件にそれぞれ合う地域を抽出し、グレーで示したものである。図4に基づいて、気候条件からみた茶の栽培適地を推定し、その分布の特徴を述べなさい。

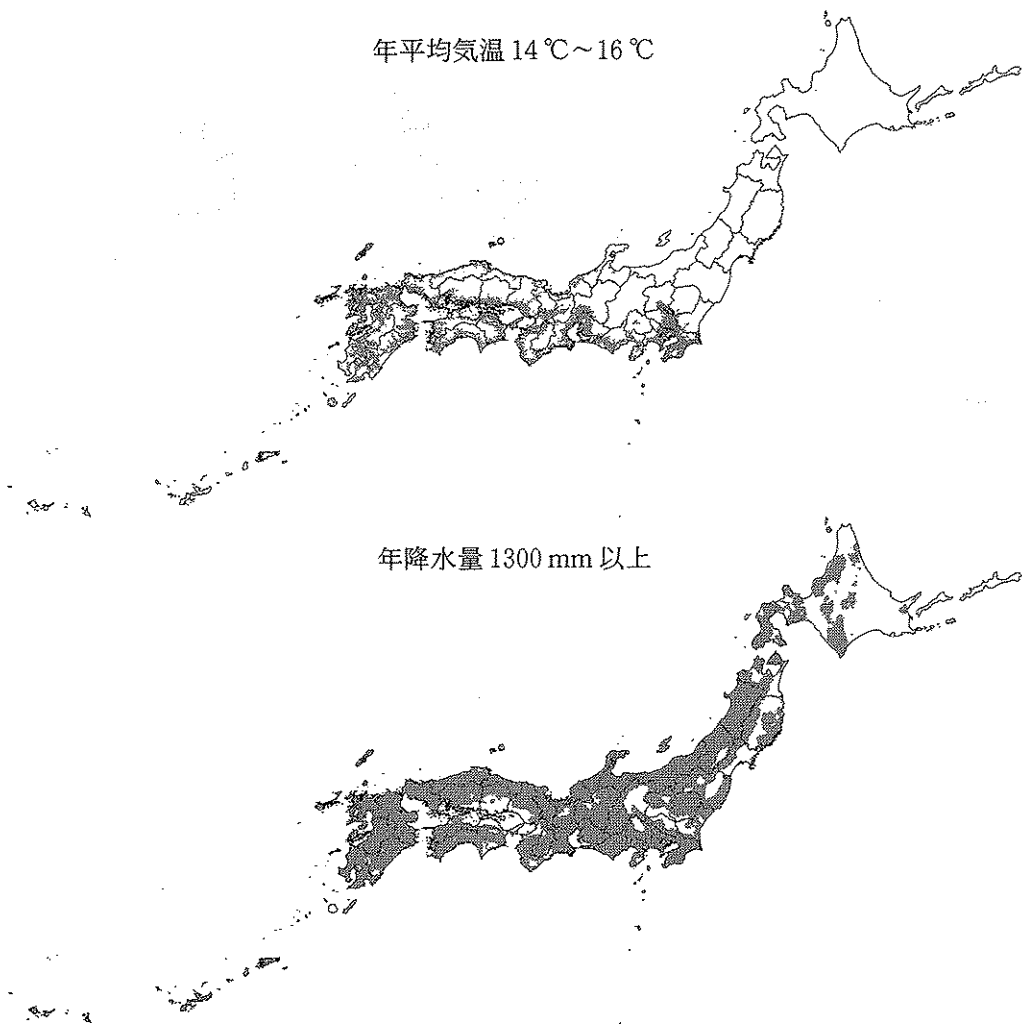


図4

国土数値情報により作成。

問 2 次の表 2 は、茶の栽培面積を都道府県別に上位 10 位まで示したものである。図 4 と表 2 を見て、気候条件からみた茶の栽培適地と主要な生産地域を比較し、両者の相違点を述べた上でその理由を説明しなさい。

表 2

順位	府 県	栽培面積 (ha)
1	静岡県	17,400
2	鹿児島県	8,520
3	三重県	3,000
4	京都府	1,580
5	福岡県	1,550
6	宮崎県	1,420
7	熊本県	1,350
8	埼玉県	884
9	佐賀県	866
10	長崎県	750

作物統計調査(2016年)による。

問 3 茶の栽培に影響する自然条件は気候だけではない。次の図 5 に示した国土地理院発行の地形図(原寸)における茶畑の分布から推測される、茶栽培に影響する気候以外の自然条件を述べなさい。



図 5

問 4 次の図6は、推定される茶の起源地と伝播経路の概要を示したものである。この図から読み取れる茶の伝播過程について、地名を挙げながら述べなさい。



図 6

『日本大百科全書』，星川清親(2003)『栽培植物の起源と伝播』などにより作成。

問 5 次の表3は、世界の国別にみた茶の年間輸出入量の上位4ヵ国を示したものである。この表に見られる国々で茶の輸出と輸入が多い理由を述べなさい。

表 3

順位	輸 出		輸 入	
	国 名	輸出量(千 t)	国 名	輸入量(千 t)
1	ケニア	449	ロシア	173
2	中 国	326	イギリス	138
3	スリランカ	318	アメリカ合衆国	130
4	インド	255	パキスタン	122

FAOSTAT(2013年)による。中国には台湾は含まない。

3 秋田県と山形県の県境に広がる鳥海火山の北西麓の象潟は、松尾芭蕉の『奥の細道』で、「江の縦横、一里ばかり、おもかげ松島にかよひて、また異なり。松島は、わらふがごとく、象潟はうらむがごとし。さびしさに、かなしびをくわえて、地勢、魂をなやますに似たり」と記述されている。ここでの自然と人間の関わりを調べるため、国土地理院発行の地形図(原寸)を次ページの図7に示した。図7を見ながら以下の問い(問1～5)に答えなさい。解答は、いずれも解答欄の範囲内に記入しなさい。

問1 地形図の羽越本線の「きさかた」で下車し、象潟の地形を観察するため、A地点にある蚶満寺(かんまんじ)まで歩いた。駅から蚶満寺までの直線距離をキロメートル単位の整数値で答えなさい。

問2 地形図において蚶満寺の北東の「象潟」の地名が付されている周辺は、九十九島として知られている。この九十九島が地形図上でどのように表現されているかを述べなさい。また、その地形の成因を説明しなさい。

問3 蚶満寺から象潟川に沿って北東に歩き、B地点の前川集落に向かった。象潟川沿いの土地利用を芭蕉の時代からの地形変化と合わせて述べなさい。また、この地域における現在の土地基盤整備の特徴も述べなさい。

問4 象潟川沿いを歩いて前川集落に向かう途中、左手に北部工業団地を観察できる。北部工業団地が立地している地形名称を答えなさい。さらに、工業団地がその地形に立地する利点を二つ挙げなさい。

問5 前川集落の集落形態を答えなさい。また、そのような集落形態となった要因を集落の立地条件から説明しなさい。

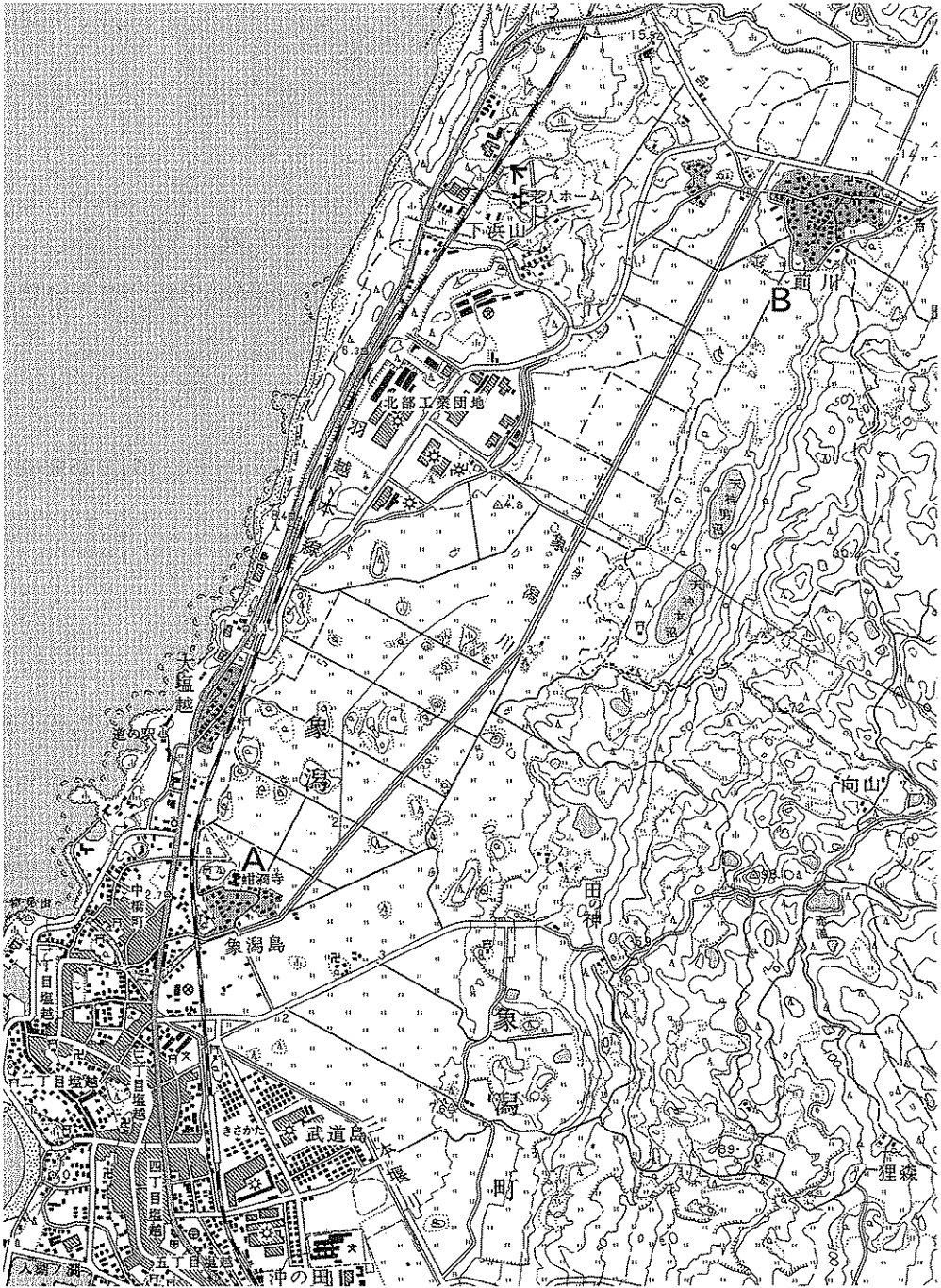


図 7

